

森林クラフトの素材配布



関東森林管理局東京事務所の敷地内を会場にした森林クラフトの素材配布を今年度も実施しました。毎年参加している「木と暮らしのふれあい展」が新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となり、職員が時間をかけて準備したどんぐりや松ぼっくり等の素材を地域で身近に活かせる方法は無いかと取り組み始めた配布も今年で3年目になります。お陰様で継続した取組の成果もあり、楽しみにして下さるご近所の方から配布前から問い合わせが何件ありました。



今回は令和4年10月31日～11月2日と12月7日～9日の2回に分けて、合計6日間実施しました。

職員が作ったクリスマスリースや、お正月のお飾り風の森林クラフトを見本として飾りました。素材は、クロマツ等の松ぼっくり、ヒノキの間伐材を輪切りにしたものや、ナンキンハゼの白い実、ヒマラヤスギのシダーローズなどをたくさん用意しました。



手前にあるのが人気のカラフルに色つけたテーダーマツの松ぼっくり

特に人気のあった素材は、テーダーマツの松ぼっくりです。都会では普段見慣れない大きさに驚いた様子で、皆さん手に取っていかれました。



森林クラフトの展示



正月用リース、お飾りの見本



シダーローズを使ったコサージュ



親子で素材選びを楽しまれました

また、配布した素材で作った作品の写真を見せてくださる方や、素材で作った小さなかわいいお人形をプレゼントして下さる方もいて、多くの方々に楽しんでもらえて良かったと思っています。

毎年来られる常連さん、犬の散歩ついでに立ち寄る方、ご近所の保育園児たち、ママ友のロコミで来られた方、今年も楽しみにしていたと声を掛けてくださった方、中には素材が足りなくなったからと2回、3回と来られる方など、幅広い世代の方々に素材を配布することができました。



今年は何の素材を使おうかと考え中です



皆さん素材選びにもう夢中

さらに、関東森林管理局の広報誌や、東京事務所のホームページに掲載している「木材を利用した建築物等の紹介」の記事のうち、江東区に所在する建築物をピックアップしてまとめた冊子を配布しました。国有林や森林・林業に馴染みの無い方にも関心を持ってもらい、良いPRになったと思います。

なお、素材配布時には「緑の募金」に皆様のご理解とご協力を賜り、多くの募金をいただき感謝申し上げます。募金は公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付させていただきました。

